

関係人口増を考える

だいしん懇話会 作家・河合さん講演

大垣西濃信用金庫の取引先企業などでつくる「だいしん経営者懇話会」の講演会が20日夜、大垣市万石の大垣フォーラムホテルで開

かれ、作家でジャーナリストの河合雅司さんが会員約250人を前に「ポストコロナの未来年表 2050年の日本の姿は？」と題し



「高齢者が増えて若い人が減っていく一番きつい20年をわれわれが過ごすことになる」と話す河合雅司さん
＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル

て語った。

河合さんは日本の人口や人口構成の推移と予測を基に講演。2042年に高齢者の人口がピークを迎える予測を示し、「ほぼ確実に起きること。高齢者が増えて若い人が減っていく一番きつい20年をわれわれが過ごすことになる」と説明した。

また大垣市の人口の変化について「人口が減る中、転入も転出も両方減っている街」と説明。今後の対策として「関係人口を増やすしかない。日本で数少ない人口が増えるエリアの一つが名古屋。この名古屋の人口にどう大垣市に来てもらうかを考える必要がある。

そつすれば金が動くようになる」と訴えた。

講演前には同懇話会の通常総会も開かれた。

(鈴木隆宏)